

□ 企業ランチョンセミナー 4 (大日本住友製薬株式会社)

学生講義に役立つ糖尿病に関する基礎知識UPDATE

綿田 裕孝

順天堂大学大学院医学研究科 代謝内分泌内科学 教授

糖尿病はインスリンの絶対的あるいは相対的作用不足に基づく、高血糖状態と定義され、インスリン抵抗性と高血糖が糖尿病合併症の進展に寄与すると考えられている。現在、糖尿病は、その成因により分類されており、それぞれのタイプの病態のメカニズムに関しても徐々に明らかになってきた。さらに、SU薬、インスリンしか治療薬がなかった25年前と比べて、治療が進歩してきており、早期発見して、早期から治療することで合併症を抑制することが可能となってきている。本講演では最新の糖尿病の診断、分類、病態メカニズム、治療法を紹介し、糖尿病に関連する学生講義に役立つ基礎知識を分かりやすく解説していく。